

北関東 防衛局 広報

2026.6
Vol.
127

目次 -CONTENS-

- 2 横田基地 日米友好祭(2026)
- 4 米海軍空母艦載機が硫黄島で着陸訓練を実施
- 5 令和8年度北関東防衛局初任研修
- 6 日米交流音楽会in武蔵村山
- 7 日米文化交流会(東京都 瑞穂町/昭島市)
防衛パネル展開催(陸自相馬原駐屯地)
(レイクタウン防災フェス2026)
- 8 わが町紹介(東京都立川市)
- 9 事務所だより ～横田防衛事務所～
- 10 北関東防衛局からのお知らせ・お願い
 - ・レーザー光線の航空機への照射は犯罪です
 - ・ドローンの規制についてのお知らせ
 - ・米軍の飛行場周辺における建造物等の設置について
 - ・在日米軍従業員募集



玉川上水 福生市新堀橋付近(写真提供:東京都福生市)



横田基地 日米友好祭（2026）



令和8年5月16日、17日、『横田基地 日米友好祭（Japanese-American Friendship Festival 2026）』が開催されました。両日ともに好天に恵まれ、多くの方々が横田基地を訪れ、2日間で、約22万6千5百人の方々が来場されました。

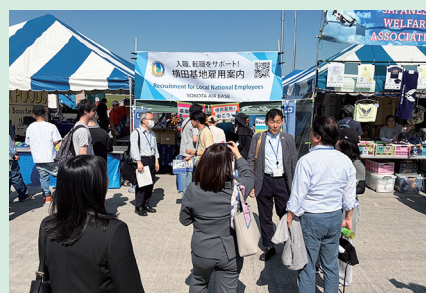
本イベントは、1974年に開催されて以来、日米両国の永続的な友好関係を祝い、地域社会の皆様とのパートナーシップを深めることを目的として、横田基地の一部が一般開放される毎年恒例の開催イベントとなります。また今年は、アメリカ独立250周年、横田基地での日米友好祭が「50回目」を迎えるメモリアルな年となりました。



5月16日に行われた米軍主催のレセプションにおいて、横田基地第374空輸航空団司令官マックエルハニー大佐から、基地周辺の自治体や関係機関のご理解とご協力のもと、友好祭が開催されてきたことに謝意が述べられ、開催50回目を記念した公式パッチがお披露目されました。

同レセプションには、池田北関東防衛局長、緒方企画部長、佐々木管理部長、佐々木横田防衛事務所長ほか当局職員も参列し、米軍や自衛隊の航空機の地上展示なども視察しました。

地上展示のほか、在日米軍の「C-130J」及び「CV-22」による展示飛行なども行われました。





C-130J



C-130J



C-17



F-35A



E-3



KC-135



P-8A



T-4
Blue Impulse

日米友好祭では、多くの航空機等による地上展示が行われ、多くの来場者が見学されていました。今回、一部ではありますが、米空軍、米海軍、自衛隊の地上展示を御紹介します。



たっけー☆☆
(福生市)



はむりん
(羽村市)



くるりん
(立川市)



みずほまる
(瑞穂町)



ちかっぱー
(昭島市)



むむちゃん
(武蔵村山市)



はやてくん
(空自横田基地)



トウチ君、さくらちゃん
(東京地方協力本部)

横田基地格納庫横のブースでは、横田基地周辺自治体のマスコットキャラクターと自衛隊キャラクターが来場者をお出迎えしてくれました。

多くの来場者方々が記念撮影をされていました。各自治体の皆様、自衛隊の皆様、ありがとうございました。

米海軍空母艦載機が硫黄島で着陸訓練を実施

訓練期間中約2,400回の着陸訓練が実施されました

硫黄島における62回目の米海軍空母艦載機着陸訓練（FCLP: Field Carrier Landing Practice）が、令和8年5月7日から16日までの間、実施されました。

訓練には、第5空母航空団所属の艦載機（F-35C、FA-18E、FA-18F、EA-18G及びE-2D）が参加し、期間中に約2,400回の着陸訓練が行われました。



着陸訓練を行う空母艦載機



池田局長視察の様子

当局では、訓練が円滑に実施されるよう、硫黄島に支援室を設置して、企画部次長を始め職員25名を派遣し、器材の使用及び支援物資の輸送に係る米海軍と海上自衛隊及び航空自衛隊との間の連絡調整や、給食、施設の管理に係る役務の調達等の支援業務を昼夜を問わず行いました。

訓練の実施に当たっては、硫黄島の自衛隊基地を管理する海上自衛隊及び航空自衛隊の協力もあり、当初予定していた訓練期間内に無事全ての訓練を硫黄島で終えることができました。



日米間での会議の様子



加藤局次長と米軍代表者

空母艦載機着陸訓練とは？

空母出航前に、空母艦載機のパイロットが着艦資格を取得するため、陸上の滑走路の一部を空母に見立てて実施する着陸訓練です。

また、訓練期間中、当局の池田局長や加藤局次長が、天山慰霊碑を訪れ、慰霊を行った後、現地支援室を訪れ、支援室員を激励及び状況報告を受けました。

当局では、本土の飛行場周辺での航空機騒音軽減などを図るため、米軍に対し、できる限り硫黄島において訓練を行うよう、累次の機会に要請しています。

今後とも、訓練の実施に当たっては、日米間の調整を綿密に行い、恒久的なFCLP施設が整備されるまでの間、暫定的な代替施設である硫黄島において訓練が実施され、本土の飛行場周辺における航空機騒音の軽減が図られるよう努めてまいります。

令和7年度自衛隊部隊研修（航空自衛隊 百里基地）

北関東防衛局では、毎年、若手職員の現場感覚向上のため、自衛隊施設等へ赴き、知識・見識を深め、地方防衛局の職務内容との関連を理解させることで、今後の業務に生かすことを目的に現地研修を行っています。

令和8年3月、令和6年度採用職員を対象に「航空自衛隊 百里基地」の支援を得て、部隊研修を行いました。本研修では、部隊広報担当からの百里基地の運用体系の説明、航空機や管制塔などの施設の見学を行い、航空自衛隊の活動について理解を深めたところです。

研修に参加した若手職員は、普段目にすることのない戦闘機などの装備品を間近に感じることができ、改めて基地の重要性について学ぶことができました。



「F-2」の見学



「UH-60」の見学

令和8年度北関東防衛局初任研修

北関東防衛局では、令和8年度新規採用者等27名を対象とする初任研修を4月15日から3日間にわたり実施しました。

研修では、当局職員による北関東防衛局の役割や各業務に関する講義のほか、防衛省職員としての基本姿勢、服務規律、情報セキュリティなどについて学びました。参加した職員は、緊張した面持ちながらも真剣に講義に臨み、これから始まる業務への理解を深めていました。

また、武隈総務部長からの仕事におけるチームワークの大切さや、誠実・正確・迅速性の心掛け、柔軟性と学び続ける姿勢などの講話を受け、新規採用者一同、熱心に耳を傾けていました。

これからの防衛行政を担う防衛省職員として、使命感と心構えを自覚するとともに、同期の絆を深めることができた研修となりました。



初任研修開講式



総務部長講話

2026年 日米交流音楽会

令和8年3月8日、武蔵村山市民会館（さくらホール）において、北関東防衛局主催による「日米交流音楽会 in 武蔵村山」が開催され、武蔵村山市やその周辺の方々など約700名が来場されました。

この音楽会は、米軍横田基地周辺の市や町の中学校の吹奏楽部等が米軍の音楽隊と単独・合同で演奏するもので、出演者のみならず、その家族や同基地周辺住民の方々との交流を通じ、相互理解の促進及び良好な日米関係の醸成を図ることを目的として、平成21年から同基地周辺の市や町で開催しています。



【音楽会終了後の記念撮影】

令和7年度は、日本側から武蔵村山市立第一中学校、武蔵村山市立第五中学校の2校の吹奏楽部、米側から米国空軍太平洋音楽隊が参加しました。

事前に実施したリハーサル（合同練習）では、参加者同士の交流が活発に行われ、米国空軍太平洋音楽隊の奏者から各学校参加者に対し、技術的な手法などを熱心に指導する場面も見受けられました。

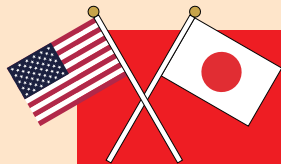


【メッセージボード交換】

演奏のトップを飾ったのは、米国空軍太平洋音楽隊で、プロフェッショナルかつ迫力のある演奏を披露。日本側各学校の演奏が続き、さらに日米合同で、「アルセナール」「ディープパープルメドレー」を演奏した後、日米の参加者が友好の証としてメッセージボードの交換を実施。最後に演奏された「デキークラ」では、会場が一体となった盛大なフィナーレとなりました。



【市内学生と米軍音楽隊による合同演奏】



日米文化交流会

Japan - U.S.

Cultural Exchange Meeting



【書道体験】

北関東防衛局では、平成26年度から、米軍横田基地内に所在する小学校の生徒と同基地周辺自治体に所在する小学校の生徒が、お互いの文化等を感じられる体験を一緒にすることにより日米の相互理解を深めることを目的とした交流事業を実施しています。

令和7年度は、令和8年1月30日に横田基地内にあるウエスト小学校の生徒が瑞穂町立瑞穂第二小学校を、2月5日に同基地メンデル小学校の生徒が昭島市立拝島第一小学校を訪問するかたちで行われました。



【じゃんけん列車】

参加した生徒たちは身振りも交えたコミュニケーションを図りながら、校庭で一緒にからだを動かしたり、体育館ではドッジボールや鬼ごっこ、教室では書道や折り紙といったアクティビティに取り組むなどして、交流のプログラムを楽しみました。

本交流がきっかけとなり新たな日米間の交流が生まれるよう、さらに充実した交流企画を立案していきたいと考えています。

防衛パネル展開催

陸上自衛隊相馬原駐屯地・レイクタウン防災フェス2026

令和8年4月11日「第12旅団創立25周年・相馬原駐屯地創設67周年記念行事」及び同年5月23日、24日に開催された「レイクタウン防災フェス2026」（越谷市）において、防衛パネル展を実施しました。

陸上自衛隊相馬原駐屯地では、自衛隊・米軍と地域をつなぐ「架け橋」をテーマに、日米同盟や日本とアメリカの様々な連携・取組について、マンガ形式のパネルや航空機の顔出しパネル等を活用して紹介しました。



【相馬原駐屯地】



【レイクタウン防災フェス】

レイクタウン防災フェスでは、防衛省・自衛隊の災害派遣活動をテーマに、来場されたお子様にも楽しく学んでいただけるよう、パネルを見ながらシールを集め、災害発生から災害派遣活動までの流れをミッション形式で体験できる展示や、ヘリコプターの顔出しパネル等を活用した紹介を行いました。

両パネル展には多くの方々に御来場いただき、大変好評をいただきました。北関東防衛局では、自治体施設や自衛隊駐屯地・基地等で開催されるイベントを活用し、防衛パネル展を実施しています。

※パネル展示に御協力いただける自治体、施設又はイベントがございましたら、企画部地方協力確保課（048-600-1844）まで、ぜひ御一報ください。

■ 多摩地域随一のにぎわい

立川市は東京都のほぼ中央、西よりに位置し、まちの玄関口であるＪＲ立川駅には、中央線、青梅線、五日市線、南武線が乗り入れ、さらに多摩地区を南北に結ぶ多摩都市モノレールや周辺各市とを結ぶ充実したバス路線などとあわせて、交通の要となっています。

駅周辺には、百貨店などの大型商業施設やオフィスビルなどが集積し、多摩地域随一のにぎわいを見せています。

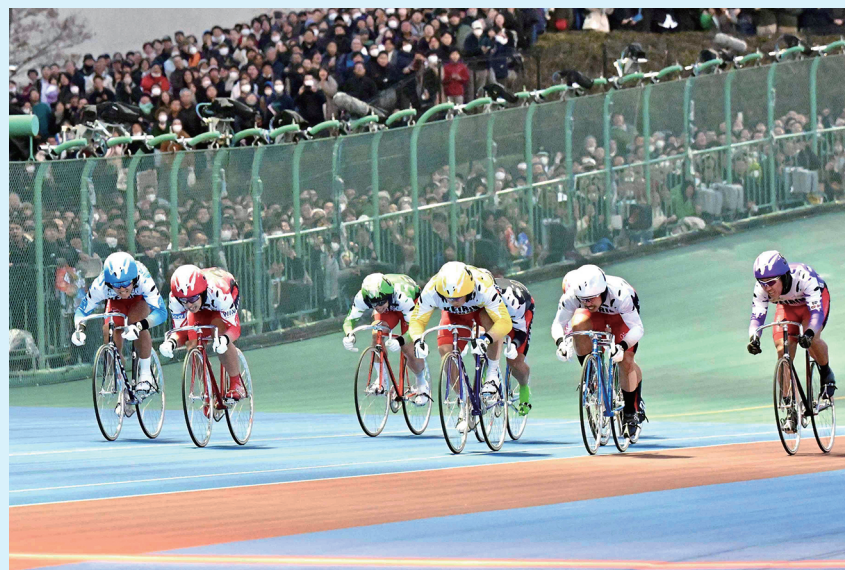


■ 100年以上の歴史をもつ立川飛行場

国営昭和記念公園の東側に位置するのが立川飛行場です。陸上自衛隊立川駐屯地、警視庁航空隊、東京消防庁航空隊、海上保安庁、東京都ドクターヘリが共用し、立川地域防災基地としての役割も担っています。さらに震災体験・煙体験・消火体験などができる立川防災館もあり、安全・安心な暮らしに繋がっています。

7月に開催される立川まつり国営昭和記念公園花火大会では、打ち上げ場所の立川飛行場滑走路からは都内最大の一尺五寸玉の花火が打ち上げられ、夏の風物詩となっています。

また、立川飛行場滑走路は10月に開催される東京箱根間往復大学駅伝競走の予選会や3月に開催される立川シティハーフマラソンのスタート地点としても使用されています。



■ スポーツイベント

昭和26年に開設した立川競輪場では第1回となるKEIRINグランプリ'85が開催され、KEIRINグランプリ発祥の地として知られています。

近年には地元企業によるスポーツ施設が続々と誕生し、バスケットボール、フットサル、ビーチバレー、ビーチサッカー、ボクシングや大相撲地方巡業といった様々なイベントが開催されるほか、スケートリンク「MAO RINK TACHIKAWA TACHIHI」も注目を集めています。

■ 防衛施設周辺対策事業

これまで市内に分散していた健康会館、子ども未来センター、ドリーム学園の機能を集約した立川市子育て支援・保健センター（愛称：はぐくるりん）が令和7年5月にオープンしました。災害発生時には、医療救護対策本部としても機能します。

本施設の建設には特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用しています。



横田防衛事務所は、東京都西部（福生市、羽村市等）及び埼玉県西部（狭山市、入間市等）を管轄地域としています。

同事務所が所在する西多摩地域には、一級河川である多摩川が流れており、この多摩川の水を羽村取水堰(羽村市)から取水し新宿区四谷大木戸までの延長約43kmに及んで開削し、整備された「史跡 玉川上水」（用水路（上水道））が今から約370年も前から流れています。今回、事務所紹介にあたり「玉川上水」についてご紹介します。

～玉川上水の完成～

羽村取水堰を起点とし、福生市や小平市を通り四谷大木戸に至るまでの高低差は僅か約92mであり、比較的平坦な原野で水流を保たせるには、100mにつき約20cm下げるという緩勾配の実現には正確な測量や掘削など緻密な設計が必要となり、完成までには並々ならない苦労が伴いましたが工事着手から僅か8か月後(1653年)に完成されたとされています。



【羽村取水堰付近】

(写真提供：羽村市)

～玉川兄弟～

玉川上水を短期間で完成に導いた工事請負人は、当時町民であった庄右衛門と清右衛門の兄弟であり、工事に尽力した兄弟には褒賞として「玉川」の姓が賜られ、また、玉川上水の管理も任される「永代水役」を命ぜられたともされ、この玉川兄弟を永く称えるため、完成から約300年後の昭和33年(1958年)ゆかりの地である羽村取水堰付近に「玉川兄弟の像」が建てられています。



【玉川兄弟の像】

(写真提供：羽村市)



～ホタル祭り～

綺麗な水が流れている玉川上水は、5月下旬～6月上旬に福生ホタル祭りが開催され、ホタルが煌やかに舞う姿が見ることができるとことや、自然が満喫できる各種散策コースなども設けられています。これから暑くなる季節に涼を求めて玉川上水に足を運んでみてはいかがでしょうか。

北関東防衛局からのお知らせ・お願い

レーザー光線の航空機への照射は 犯罪(注)です。

東京都内、神奈川県内、沖縄県内等で 飛行中の航空機に対してレーザー光線を照射するという事案が多発しています。

墜落等による大惨事をもたらしかねない大変危険で悪質な犯罪ですので **決して行わないで下さい。**



■レーザー光線による操縦士への影響(イメージ)

照射している人を見かけた方は **110番通報** をお願いいたします。

(注) 平成28年12月、改正航空法施行規則が施行され、規制が強化(レーザー光線を航空機に向かって照射する行為自体に罰則(50万円以下の罰金))。

刑法の威力業務妨害罪(3年以下の拘禁又は50万円以下の罰金) 航空危険行為処罰法の航空危険罪(3年以上の有期拘禁)等に該当する場合あり。

平成27年12月及び平成28年11月に威力業務妨害罪で逮捕例あり。

防衛省、外務省、警察庁、国土交通省

■内容についてのお問い合わせにつきましては下記に御連絡願います。

北関東防衛局 企画部地方調整課 連絡調整室
(東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、長野県を管轄)
防衛省本省 地方協力局 在日米軍協力課

(代表) 048-600-1800
(内線:2226.2236.2237)

(直通) 03-5362-4851

ドローンの規制についてのお知らせ

小型無人機等飛行禁止法により指定されている **自衛隊施設/米軍施設** その **周辺地域** (周囲約300m) の上空における **ドローン** 等の飛行は、**原則として禁止** されています。

これに違反した場合、次のような措置/罰則もあります。

- 警察官等による安全確保措置
- 最大拘禁1年/罰金50万円

周囲おおむね300mの地域
の上空(イエロー・ゾーン)

自衛隊施設/米軍施設の敷地・
区域の上空(レッド・ゾーン)



※このほか、**航空法**上の無人航空機の飛行禁止空域においてドローン等を飛行させる場合、夜間にドローン等を飛行させる場合等には、別途、**国土交通大臣の許可又は承認を得る必要があります。**

対象防衛関係施設及び飛行をさせたい場合の手続の詳細については、防衛省HPをご参照ください。
<https://www.mod.go.jp/j/presiding/law/drone/index.html>



防衛省・外務省・警察庁・国土交通省

お問い合わせ先

防衛省 北関東防衛局 企画部 地方調整課 連絡調整室
【代表】048-600-1800 (内線:2226.2236.2237)

米軍の飛行場周辺における 建造物等の設置について

航空機が安全に離着陸するためには、飛行場周辺の一定の空間を、障害物のない状態にしておくことが重要です。

米軍の飛行場周辺において、建造物等の設置を計画されている方は、北関東防衛局へお問い合わせください。

■内容についてのお問い合わせにつきましては下記にご連絡願います。

(横田飛行場関連)

北関東防衛局横田防衛事務所 (代表)042-551-0319

(木更津飛行場関連)

北関東防衛局千葉防衛事務所 (代表)043-221-3541



在日米軍従業員募集

独立行政法人駐留軍等労働者

労務管理機構【エルモ】では、在日米軍基地で勤務する従業員

員の募集を行っております。

興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。

下記の支部にお問い合わせください。

※求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されますので御利用下さい。



【X(旧Twitter)】

求人情報等の募集関連情報を定期的に発信しています。ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名「独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構(エルモ) @LMO_recruit」

X(旧Twitter)



【窓口応募受付・お問い合わせ先】

エルモ横田支部管理課管理二係

住所: 〒196-0014

東京都昭島市代官山2-4-4 昭島昭和第2ビル4階

電話: 042-542-7663

担当施設: 横田飛行場、ニューサンノーマンセンター、赤坂プレス・センター他

<https://www.lmo.go.jp> L M O 検索

エルモ
ホームページ



求人情報
本州・九州の
基地



★「北関東防衛局広報」のバックナンバーは、北関東防衛局のホームページでご覧になれます。

<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/event-katsudo/kouhou/kouhou.html>

北関東防衛局広報 検索

広報紙
バックナンバー

